


DYNAMO Pictures 株式会社 ダイナモピクチャーズ

「適材適所」のストレージ配置で理想の制作環境を構築

— 3DCGデータを安全に保存・運用



「株式会社 ダイナモピクチャーズ」サイト

アプリケーション

コンピュータ・グラフィックス映像制作の現場で使われる保存・管理用ストレージ

課題

3DCG制作会社のダイナモピクチャーズでは、増え続けるデータのバックアップと取り扱いに問題を感じていました。新プロジェクト立ち上げに当たり、制作環境を一新することになり、高信頼性、高パフォーマンスなストレージシステムを探していました。

Isilon IQ のメリット

ダイナモピクチャーズでは、複数のストレージを総合的に検証した結果、以下の理由によりIsilon IQ を選択しました。

- 大量同時アクセスにも耐えうる高スループットな環境
- パフォーマンスと容量を線形的または個別に拡張可能なこと
- 保護レベルの設定・変更が自由にできること
- 障害があった場合でも業務を継続できる信頼性

幅広いジャンルをカバーするCG映像制作の先駆者的存在

ダイナモピクチャーズは、ゲームや映画、CMのほか、遊園地のアトラクション用映像、遊技機用映像など、多様なジャンルのCG映像を企画・制作しているプロダクションです。1995年に日本初のモーションキャプチャスタジオを開設するなど、業界の草分け的存在として活躍してきました。

「受託系の仕事だけではなく、自社オリジナルコンテンツも制作しています。特定のジャンルに絞らず、幅広い業務を展開しているのが当社の強み。それはクリエイターのスキルやモチベーションの向上にもつながります」と管理部 制作支援室 室長の古閑氏は語ります。

もともとCG制作では大容量のデータを扱いますが、昨今のHD（ハイビジョン）映像の進展によってその傾向に拍車がかかっています。同社でもデータ保存容量の不足が問題になっていました。

「一つのプロジェクトのデータは、最終的な保存形態で数TBにもなります。それを安全に保存する方法はテープしかありませんでした。しかしテープでは書き込みに手間がかかり、後で再利用するのに不都合です。そこで小規模なNASをたくさん利用してファイルサーバとして運用していました。容量不足には対応できていたものの、業務効率の面でも、会社の資産としてのデータ保護という面でも、従来のシステムは決して万全とは言えませんでした」（古閑氏）

同社ではここ数年、制作本数も増加傾向にあり、今後の急激なデータ量の拡大が予測されました。信頼性のある新しいストレージシステムの構築が検討されていました。

 新プロジェクトの立ち上げに合わせて
 制作環境を大幅に刷新

ちょうどその頃、自社が中心となる映画プロジェクトが立ち上がりました。オリジナルコンテンツとしての映画制作は映像制作会社としての実力を試す絶好の機会であり、社運をかけた重要なプロジェクトになります。



株式会社 ダイナモピクチャーズ
 管理部 制作支援室 室長
 古閑 洋氏

そこで制作環境の整備からスタートすることになりました。デザイナーが利用するPCからレンダリング用のハードウェア・ソフトウェア、ネットワーク、ストレージまで、システム全般の再構築を図りました。ストレージに関しては、制作工程を「モデルファーム」「レンダーファーム」「イメージファーム」の3つに分け、各工程に最適な製品の要件を決めることから開始しました。

最初の「モデルファーム」は、CG映像の元となるシーンデータを作成する工程で、作業中あるいは作業終了後のデータがストレージに保存されます。新しい制作環境では、各自のローカルPCにデータを落とすのではなく、ファイルサーバ上で直接作業するスタイルを構想しました。従って、全員が同時にアクセスしてもスループットが落ちないストレージが必要でした。第2の「レンダーファーム」は、シーンデータから演算して連番画像を1枚1枚作成する工程。最も大容量のストレージが必要になりますが、前の工程に元データは残っているので、信頼性はそれほど重視されません。第3の「イメージファーム」は、1枚1枚の連番画像を読み込んで映像にして、エフェクト処理などを行う最終的な工程。完成データの保存場所になるので、容量が多く信頼性も高いストレージが必要でした。

信頼性、パフォーマンスで Isilon IQクラスタ ストレージを選択

以上の要件に沿ってそれぞれ最適なストレージを検討した結果、モデルファームとイメージファームで採用されたのが、Isilon IQクラスタ ストレージでした。

「信頼性とパフォーマンスの高さを基準に3~4製品の中からストレージを検討したところ、Isilonが際立っていました。数十人が同時にアクセスして作業してもパフォーマンスが落ちないですし、ノードを増やすごとに上がってくる。

これは他の製品にはない特徴でした。信頼性レベルの設定を自由にできることもメリットに感じました。一方レンダーファームは、容量さえあれば信頼性は多少低くても構わないので、他社のストレージを選びました。」(古閑氏)

Isilon IQは、多数のクライアントが大規模な共有データプールに高速でリード/ライトアクセスするのに最適な、高スループットかつ大量同時アクセス環境を提供します。また、ノードを追加することにより、トータル スループットと性能を線形的に拡張することができます。このような他にはない様々な特長が、同社の新しい制作環境にぴったりとフィットしました。

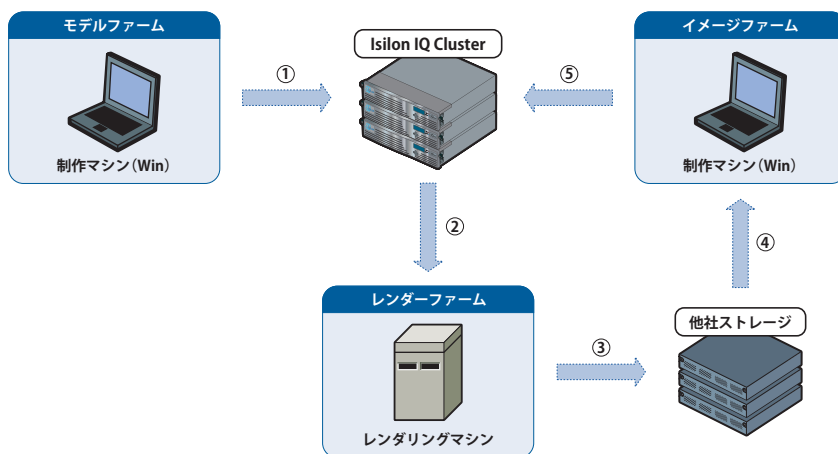
ストレージはノートラブルで推移 制作環境の改善に貢献

同社ではIsilon IQ3000を4ノード導入。正式稼働してから数ヶ月が経ちました。以前のファイルサーバの時はトラブルが多発していましたが、Isilonにしてからノートラブルで推移しています。

「Isilonにしてからはユーザからの苦情が全くありません。ユーザは悪い時はどんだん文句を言ってきますが、良くなると何も言いません。何も言われないということは、良い環境ができたのだと思っています(笑)。私の部門は制作支援室であり、現場の作業効率を向上させるためのインフラ作りがミッションです。ユーザのストレスを軽減し、作業に集中させることができたIsilonは、新しい制作環境に最適なストレージだったと言えます。データ保護の重要性という意識も、Isilonにしてから皆に浸透してきたようです。」(古閑氏)

工程ごとに最適なストレージを配置した「適材適所」のシステム構築を実施したダイナミックチャージ。CG業界の先駆者にふさわしい理想的な制作環境を手に入れることができました。

CG制作の大まかな流れ



開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階
Tel : 03-5358-7188 (代表) Fax : 03-5333-4443
Email : sales-jp@isilon.com www.isilon.co.jp